

# 2024年度 新人看護職員 臨床実践能力 年間教育スケジュール表

# 糸魚川総合病院 看護部新人教育委員会

新人教育委員会教育方針:厚生連糸魚川総合病院の理念、看護部理念にそって看護の専門職として時代に即応した、安全で質の高い看護を提供できる看護職員を育成する

教育目標:1.組織における役割、心構えを理解し適切な行動がとれる 2.看護職員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる 3.専門職業人として主体的に学習し自己を向上させることができる

年間目標:1.基礎看護技術が安全・確実に実践できる 2.指導を受けながら看護計画に沿った看護実践ができる 3.セクションの特性と業務内容を理解できる

4.受け持ち看護師としての役割を理解できる 5.職員としての自覚を持ち、責任のある行動がとれる 6.看護に必要な知識について、主体的に学習できる

	4月前半	4月後半	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	I期前半:職場への適応・集合教育	I期後半:基礎看護技術の習得・日常業務の習得	II期:夜勤業務の習得				予定入院の取り扱い		III期:受け持ち看護師として看護過程の展開			IV期:自己を振り返り課題を明確にする		
V期:急変時の自己の対応を知る														
アウトカム	○職場の環境に慣れる ○部署の構造が理解できる ○社会人としての基本的マナーが理解できる ○必要時自ら助言を受けることができる	○日勤の業務の流れが理解できる ○報告・連絡・相談の考え方が理解できる ○看護技術が指導のもと実践できる ○OME機器の取扱が実践できる ○指導者とともに複数の患者を受け持つ事ができる	○優先順位を考えて一日のスケジュールを立案できる ○報告・連絡・相談ができる ○3~6人の患者を受け持つ事ができる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
	○夜勤見学し、患者の1日の生活の流れが理解できる	○夜勤の流れが分かる	○入院から患者に関わり全体像をとらえることができる	○患者を受け持ち計画が立案できる										
		○夜間のラウンドができる ○夜間のスケジュールが立案できる ○夜間のナースコール対応ができる ○夜間の点滴管理ができる	○受け持ちの看護師の役割を理解し行動できる ○看護計画が立案できる ○患者家族とコミュニケーションが図れる ○受け持ちとして看護が展開できる ○退院支援ができる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
			○急変に気付き人が呼べる ○急変時医師に報告できる	⇒	⇒	⇒							○退院支援・調整がわかる	
	□看護部概要・組織・運営 □当院の看護師としての心得 □コミュニケーション □看護方式について □勤務表について・受診の仕方 □看護倫理について			□多重課題研修		□外来研修			□継続看護研修				□1年のまとめ発表	
	□環境調整	□環境整備 ベッドメイキングなど各部署で指導												
	食事援助	□食事介助 <b>□経管栄養法</b>												
	排泄援助		□導尿の手技 □膀胱内留置カテーテルの挿入と管理											
	活動・休息	□歩行介助・移動介助・移送 □体位変換・安楽な体位 □廃用症候群予防 □関節可動域訓練												
	清潔衣生活	□部分浴・陰部ケア・おむつ交換 □清拭・洗髪 □口腔ケア □寝衣交換等の衣生活支援、整容												
技術的側面	□呼吸・循環	□酸素吸入 □吸引 □体温調整 <b>□ネブライザーの実施</b>		□褥瘡の処置 □褥瘡の予防					□挿管介助	□人工呼吸器研修				
	創傷管理													
	与薬	□静脈内注射 □静脈内採血 □点滴静脈内注射 □インスリン製剤の種類・用法の理解 □輸液ポンプ・シリンジポンプ □経口・外用・直腸内与薬 □抗菌薬・抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察 □麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用の観察			□静脈注射研修 フォローアップ				□輸血療法委員会 の研修参加	□静脈注射研修 フォローアップ				
	救急救命処置					□BLS、AED								
	症状・生体	□静脈血採血と検体の取り扱い □心電図モニター □採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い □12誘導心電図の装着												
	苦痛の緩和	□安楽な体位の工夫												
	感染予防	□スタンダードプロトコールの実施 □必要な防護用具 □洗浄・消毒・滅菌の適切な選択 □無菌操作の実施 □医療廃棄物規程に沿った適切な取り扱い □針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応			□感染対策委員会の研修に参加(2回/年)									
	安全確保	□誤薬防止の手順に沿った与薬 □患者誤認防止策の実施 □転倒転落防止策			□医療安全委員会の研修に参加(2回/年)									
	死亡時のケア													
管理的側面	安全管理	□医療事故・インシデント発生時の対応												
	情報管理	□看護記録 □看護必要度 (□オーダリング看護支援システム)												
	業務管理													
	薬剤等の管理	□毒薬・劇薬・麻薬の取り扱いと管理												
	災害防災管理	□防災訓練 □消火器訓練												
	物品管理													
	コスト管理													
研修の振り返り 面接・面談	新人看護職員評価表「看護技術」	2回/4月 プリと評価	2回/5月 プリと評価	6~8月 2回/3ヶ月 プリと評価	9~11月 2回/3ヶ月 プリと評価	12~2月 2回/3ヶ月 プリと評価								
	新人看護職員評価表「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「管理的側面」	2回/年 プリと評価			1回目評価					2回目評価				
	師長・新卒者教育委・プリセプターで面談		6月面談		9月面談				12月面談			3月面談		
	師長面接	入職1ヶ月	入職3ヶ月	入職6ヶ月	入職9ヶ月							入職12ヶ月		
委員・プリの研修	新看護職員研修ガイドライン・研修企画の基本		ファシリテーター・デブリーファーの役割									□次年度プリセプター研修		